

Information

小学生 中学生 高校生

「新中1生(現小学6年生)」 中学に向けて、万全の準備を!

新中学1年生(現小6生)のみなさんへ

◆何事も、最初が肝心です!

小学校を卒業し、いよいよ中学校生活が始まります。期待と同時に、「勉強についていけるだろうか」「テストは難しいのかな」と不安を感じている人も多いのではないのでしょうか。

実は、中学校での勉強は小学校とは大きく変わります。その違いを知り、準備しておくだけで、4月からのスタートはぐっと楽になります。

◆中学校で大きく変わる2つのポイント

①勉強量は増えとスピードは早く。

中学校では、授業の進みが速くなり、提出物(課題)も増えます。「授業を聞いただけ」では理解が追いつかず、わからないことがあれば放置せず、きちんと理解をしていくことが必要です。

②定期テストが始まります!

小学校にはなかった「定期テスト」が、中学校では行われます。点数で評価されるため、最初の定期テストの結果が、その後の自信や勉強への姿勢に大きく影響します。勉強のやり方を知らないまま迎えてしまうと、「何を、どれくらい勉強すればいいかわからない」という状態になりがちになりますので、「勉強法の習得」が必要です。

◆「新中1準備講座(無料)」実施!

アーク進学会では、新中学1年生を対象に「新中1準備講座」を実施しています。この講座は、「中学校に入ってから困らないための土台作り」を目的としています。

初めて中学校の学びの内容に触れる方でも安心して参加できる内容です。アーク生はもちろん、アーク生のお友達、ご兄弟姉妹の方も無料受講ですので、「まず体験してみたい」という方にもおススメ!

※実施日程は、各校にお問い合わせください。



【中学生】私立高校の状況と「大阪府公立高校入試の特徴」

私立高校の人気は、昨年より上昇!

私立高校の出願も終わり、倍率速報が日々更新されています。やはり、今年度の私立高校人気は高く、昨年の倍率より高くなっている高校が多数あります。府内私立高校の受験を希望する生徒は、専願・併願合わせると私立高校希望者:

51,875人募集定員に「増員可能数」を含めた倍率: 1.99倍となります。

【私立高校「専願率」は過去最高に!】

特に注目されるのが、私立高校の専願率です。

私立専願率: 29.74% 前年比: 0.69ポイント増

これは、現在の選抜制度となった平成28年度以降で過去最高の数値となりました。今まで私立高校の受験を考えていなかった層が、大きく動き出していることが伺えます。来年度以降も倍率が上昇することが予想されるため、大学付属の高校や国立大学への進学率の高い高校などの、独自の魅力を持っている高校への進学を考える場合、入念な準備が必要となります。

専願・併願に関わらず、「絶対合格」したい私立高校。いよいよ受験を来週に控えた受験生(中学3年生)は、今から直前までできること全力でやり、本番に臨みましょう。

また、中1・中2生は、受験事情が年々変化する大阪で、志望校に合格するために十分な準備と学習が、これまで以上に必要になります。

まずは、志望校になりうる高校の情報を集め、なるべく早く志望校の選定し、「適切な勉強レベル」「適切な勉強量」「適切な学習計画」が必要になります。



アークでは、新学年が3月からスタートします。新学年の始まりにあたり、まずは「今の自分の位置」をしっかりと把握し、目標点や志望校に見合った受講コースで取り組むことで、この1年の学びは大きく変わっていきます。

何となく勉強するのではなく、「何のために・何を・どのように学ぶのか」を意識した1年にしていきたいと思います。

新学年の開始に伴い、「進級・進学懇談会」を実施いたします。お子様の目標や志望校に応じた最適なコースのご提案はもちろん、学習面や進路についてのご相談も承ります。ぜひご参加くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。

大阪公立高校入試～各科目の特徴～

1. 国語 (B問題) 【試験時間: 50分】

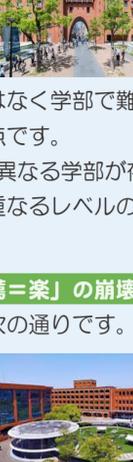
～時間配分と作文がカギ～

●傾向

論理的な文章(論説文)、物語文、古文、漢字・知識、そして260字以内の作文で構成されます。

●対策

- ①作文は、配点も大きく10～12分程度で書けるようルーティン化し、自分の意見+具体例の構成を型にしておきましょう。
- ②古文の基礎の「現代仮名遣い」は毎年恒例のサービス問題です。また、内容もあまり難易度も高くないため、確実に得点源にしましょう。
- ③記述の要約力: 抜き出し問題だけでなく、内容を短くまとめる記述練習が必要です。空欄には絶対しない!



2. 数学 (B問題) 【試験時間: 50分】

～大問1・2を完璧に～

●傾向

大問1の計算・小問集合、大問2の数と式、大問3の関数、大問4の図形という構成が一般的です。

●対策

- ①大問1・2で満点狙い! ここだけで配点の半分近く(40点～50点分)あるため、ケアレスミスは命取りです。証明の型を作る
- ②図形の証明は部分点が狙えます。相似なら「2組の角がそれぞれ等しい!」の条件が最も多い! 頻出単元なので、しっかり得点を狙いましょう!
- ③「立体図形」からの三平方の定理、相似パターンも過去問でしっかり特徴を掴む必要あり!



3. 英語 (B問題) 【試験時間: 50分】

～リスニングと長文の速読～

●傾向

読解問題が中心で、文法単独の問題は少なめ。長文は約600語程度のボリュームがあるため、長文を速読できる必要あり!

●対策

- ①リスニング対策: 配点の約4分の1を占めます。メモを取りながら、放送の「問い」を先読みする習慣を。
- ②並び替え問題: 「文法が正しいか」「意味が通るか」この2つの確認が絶対必要! カンや感覚での解答での正解はほぼ難しい…。熟語や前置詞の使い方もしっかり確認が必要です
- ③20語程度の英作文: 難しい単語を使おうとせず、自信のある文法(want to, becauseなど)でミスなく書くことが大切です。a an theのつけ忘れ、三単現のS、複数形のSなどの漏れのミスが非常に多いので注意!

4. 理科 (共通) 【試験時間: 40分】

～実験の「なぜ?」を理解～

●傾向

実験や観察をベースにした問題がほとんどです。グラフの読み取りや作図も出る! 生物・地学・化学・物理の4単元からまんべんなく出題されるので、苦手単元は1つでも多く、つぶしておく!

●対策

- ①図や写真、実験結果の内容などの文章が長いので、必要な数値やポイントは必ずチェックしておくことが必要です。不要な文章は飛ばすことも重要です。
- ②計算問題の攻略: 密度、濃度、オームの法則、仕事率など、公式を使う問題は繰り返し解いてできるようにしておきましょう。天気や地震など最近の話題からの出題もあります。

5. 社会 (共通) 【試験時間: 40分】

～資料活用と記述～

●傾向

歴史・地理・公民の重要キーワードの暗記に加え、地形図、統計グラフ、年表などの資料を読み取る力が重要です。

●対策

- ①歴史: 単語の暗記だけでなく「なぜその出来事が起きたか(背景)」をセットで理解していく必要があります。また、出来事の流れもしっかり押さえておきましょう。
- ②地理: 雨温図は必須! 国ごとの貿易品目の特徴を捉え、どの国・地域のことが判別できるようにしておく。また、シリコンバレーやフィヨルドなど各国での重要キーワードは必ず押さえましょう!
- ③公民: 時事問題に関連して、国会や地方自治がよく問われます。また、今年あった出来事などを絡めた問題も多く、万博や選挙などは絶対確認ですね。

関関同立・産近甲龍～入試に向けて必要な情報と準備～

データから読み解く入試の実態

近年、「関関同立や産近甲龍は以前より入りやすくなった」という声を耳にすることがあります。しかし、志願者数や実質倍率、公募制推薦のデータを丁寧に見ていくと、その認識は現状と大きくズれていることが分かります。

◆「偏差値の幅」と「倍率上昇」が示す現実

まず、関関同立の偏差値帯を確認すると、右の表のようになっています。

大学名	偏差値帯
関西大学	50.0～60.0
同志社大学	55.0～62.5
関西学院	50.0～70.0
立命館大学	50.0～67.5

大学ごと・学部ごとの難易度差が非常に大きく、大学全体でみると偏差値幅がかなり大きくなっています。

一部の学部だけを見ると「意外と低い」と感じるかもしれませんが、実際の競争は年々激しくなっています。

関西学院、同志社、立命館も着実に志願者を増やしており、関西大学は横ばいながらも約5万4千人規模という高水準を維持しています。

この動きからは、関関同立という大学群そのものへの信頼と人気、再び高まっていることが読み取れ、今後も志願者数が増加することが予想されます。

また、増加に伴い、実質倍率も全体的に上昇しています。特に関西学院大学は、2023年度には実質倍率2.3倍と比較的狙いやすい印象がありましたが、2025年度には3.1倍まで上昇しました。

関西大学や同志社、立命館でも倍率は3.0～4.0と上昇しており、どの大学でも3人に2人が不合格になる厳しい試験になっています。

◆産近甲龍が「安全校」は通用しない理由

では、産近甲龍の状況はどうでしょうか。各大学の偏差値帯は以下の通りです。

- 京都産業大学: 55.0～61.0
- 近畿大学: 54.0～66.5
- 甲南大学: 58.0～66.0
- 龍谷大学: 51.0～64.0

ここで重要なのは、大学名ではなく学部で難易度を判断する必要があるという点です。同一大学内でも偏差値が10以上異なる学部が存在し、関関同立に近い、あるいは重なるレベルの学部も少なくありません。

◆公募制推薦倍率が示す「推薦=楽」の崩壊

産近甲龍の公募制推薦倍率は、次の通りです。

- 京都産業大学: 1.3～9.2倍
- 近畿大学: 1.0～10.0倍
- 甲南大学: 1.9～15.7倍
- 龍谷大学: 1.25～11.5倍

注目すべきは、10倍を超える倍率が珍しくないという点です。公募制推薦は評定が一定以上あれば受験できるため、志願者が集中しやすく、学部や日程によっては一般入試以上に厳しい戦いになります。

「推薦だから受かりやすい」というイメージは、すでに現実とは合っていない。

◆なぜ産近甲龍の難易度が上がっているのか

産近甲龍の倍率上昇には、いくつかの背景があるとされています。

- ①関関同立の難化による併願校としての受験増加
- ②私立大学志向の回帰
- ③定員管理の厳格化による合格枠の縮小

これらのことが重なり、「併願校だから大丈夫」という受験が成立しにくくなっています。

関関同立・産近甲龍のデータから見てくる最大の注意点は、

「油断した受験設計が、そのまま不合格につながる」ということです。

- 偏差値は届いているのに対策が不十分で不合格
- 公募推薦に期待しすぎて一般対策が遅れる
- 併願校のつもりが、結果的に全落ちする

こうしたケースは、近年確実に増えています。

◆大学入試に向けて必要な視点と準備

関西の有名私大を受験するにあたって、その準備は可能な限り早く動くべきです。

アーク進学会では、新高校生コース「オールサポート」で高校生の学習指導だけでなく、学習スケジュールの管理、志望大別の必要テキストによるサポートなどを行っております。

新高校1年生は、「高校準備講座(無料)」が始まります。個別授業+東進講座でサポート!

【高校生グループ個別指導】
週2回のグループ個別指導で高校1年生で学習する授業の先取。

【東進・高1先取特訓講習(無料)】
合格実績NO.1の東進・映像授業を利用した高1先取学習も受講できます!

また、新高2生、新高3生には、東進の【新年度特別招待講習(無料)】の受講が可能です。

東進衛星予備校・鴻池新田駅前校では、4講座まで無料で受講できる『冬期特別招待講習』を実施しています。

この機会に日本一の合格実績を誇る東進の授業を体験してみませんか?

■受講資格: 新高1生・高2生・高3生
■申込期間: 申込日によって講座数が異なります。

- ～3月1日(日) 4講座+高速マスター 無料招待
- ～3月13日(金) 3講座+高速マスター 無料招待
- ～3月20日(金) 2講座+高速マスター 無料招待
- ～3月27日(金) 1講座+高速マスター 無料招待

■受講料: 無料招待
通常1講座20,900円(税込)を、無料で受講できます。3講座を受講の場合、62,700円相当が無料。

■受講期間: 2026年4月10日(木)まで
■お申込: アークの各教室か以下からお申込下さい。

お申込みは... [ここをクリック!](#)

アーク進学会